

ナカカル AP セミナー まちを動かす 「場」と「仕組み」

～ UDC に学ぶエリアプラットフォームの実践 ～

エリアプラットフォームとは

- ・エリアプラットフォームの本質
- ・民間 / 行政 / 大学が連携する意味
- ・UDC が果たしてきた役割

組織を育て、続けるための運営論

- ・多様な主体を巻き込む仕組み
- ・ナカカル AP に応用できる視点
- ・組織の運営と発展のプロセス

都市空間を活かしたまちづくりの実践

- ・失敗や試行錯誤を許容する社会受容性
- ・駅周辺のパブリックスペース活用事例
- ・水辺空間の活用とまちへの波及効果

エリアプラットフォームの先進事例である UDCK (柏の葉アーバンデザインセンター) の運営に長年携わり、公共空間活用やまちづくりの実践を重ねてこられた、UDC イニシアチブ理事・東京大学特任研究員の三牧浩也氏をお招きします。

「エリアプラットフォームとは何か」という基本的な考え方から、組織を持続的に運営・発展させていくための工夫、駅まち空間や水辺空間といった公共空間を活かした具体的な取り組みまで、実践に基づいた知見をご紹介します。

ナカカル AP のこれからの活動や、中軽井沢のまちづくりを考える上でのヒントを得られる機会として、行政・民間・地域の垣根を越えた多くの方のご参加をお待ちしています。

■日時 2026 **1.30** 金
18:30-20:00

■会場

くつかけテラス内
中軽井沢図書館 (多目的室)

先着 70 名 (参加費無料)

■講師

みまき ひろや

三牧 浩也

UDCK 副センター長
UDC 信州 副センター長
UDC イニシアティブ 理事
東京大学 特任研究員



東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了。
日本都市総合研究所を経て、2010 年より UDCK 専任副センター長に就任。

柏の葉の現場でまちづくりの推進業務に携わる一方、各地の UDC の設立運営にも関わる。2020 年より東京大学大学院新領域創成科学研究科特任研究員。技術士 (建設部門)。